

# 道路整備の中期ビジョン(案) の骨子について

(参考資料1)

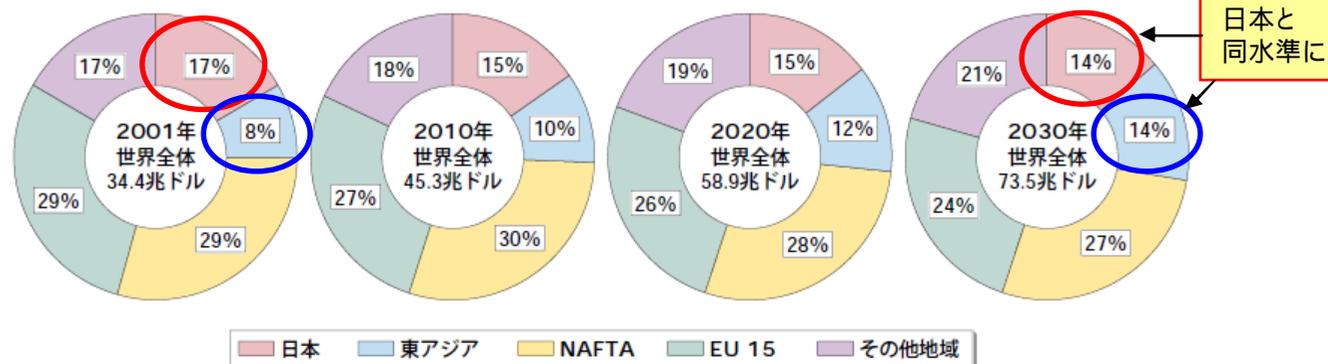
国土交通省 道路局

国土交通省 都市・地域整備局

## 現状と課題（国際競争力の強化）

今後20年で東アジア地域の経済規模が、日本に追いつくことが想定される中、国際競争力を強化し、持続的に成長する経済社会を実現することが必要

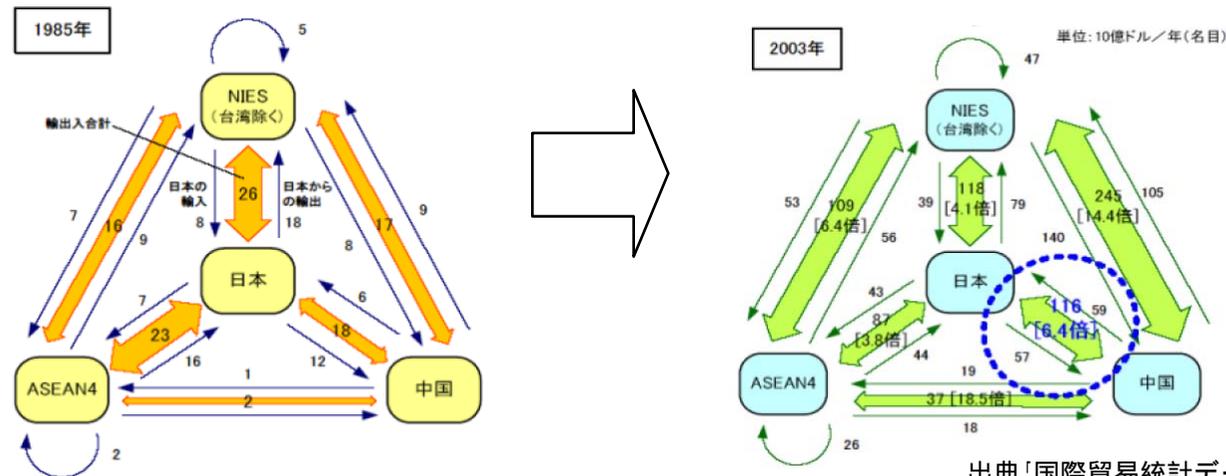
東アジア地域の実質GDPのシェアは日本と同水準に達する



(備考) 1. GTAPモデルによるシミュレーション結果。  
2. ここでの東アジアの範囲は、中国、香港、台湾、韓国、シンガポール、タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシア。  
(資料) 経済産業省作成。

出典「平成17年度通商白書」

日本も、東アジア地域との貿易が近年急増している



出典「国際貿易統計データベース」をもとに作成

## 現状と課題（国際競争力の強化）

### インフラの充実が企業誘致成功の大きな要因となっている

- ・いろんな候補地があったが、新しい空港や道路が出来ることで時間的なことや面積的なことで最適地と判断した。

（トヨタ自動車九州 渡辺社長）「出典：朝日新聞」

- ・当地は、九州・西中国地区へ向けた高速道路の結節点となっており、各店舗への材料供給拠点として最適である。

（サービス関連企業）「出典：日本銀行北九州支店特別調査」

東九州自動車道整備



苅田北九州空港IC (H17.4撮影)

新北九州空港の開港に合わせて  
北九州JCT～苅田北九州空港IC間  
が供用(2006年2月26日)

新北九州空港



完成イメージ

東京・上海の中間、西日本の中央に位置し、  
国内はもとよりアジア各国や世界へ伸びる  
北九州地域の拠点として新北九州空港  
2006年3月16日開港

苅田港



整備の進む苅田港(H15.11撮影)

本港地区において、船舶の大型化に  
対応するため、平成15年度より多目的  
国際ターミナル(水深13m)の整備中。

## 現状と課題（少子高齢化）

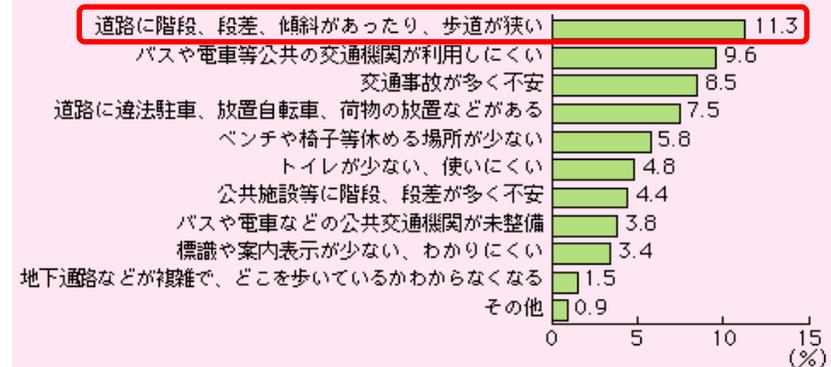
今後10年間で高齢者が急増することが予想され、高齢者が安心して暮らせる移動・居住環境の確保が必要

### 今後10年間で高齢者人口が急増する



出典「平成17年度国土交通白書」

### 道路の段差等が高齢者の外出時の障害となっている



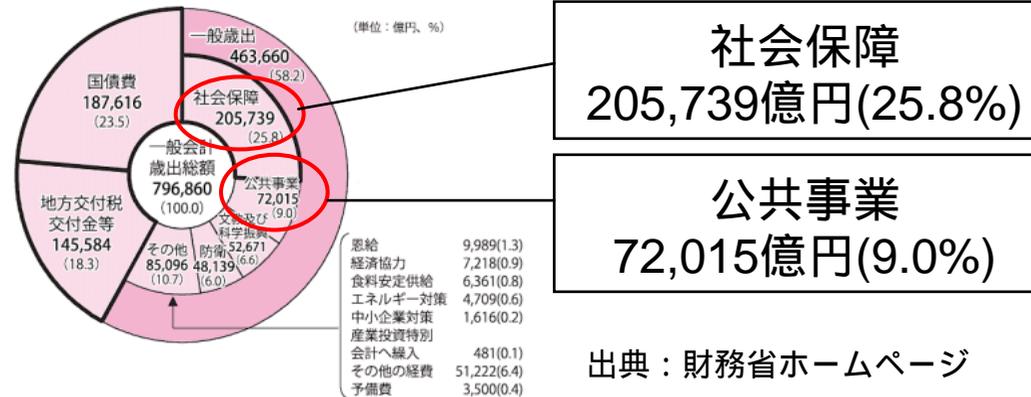
資料) 内閣府「高齢者の日常生活に関する意識調査」(平成16年11~12月調査)より作成

出典「平成17年度国土交通白書」

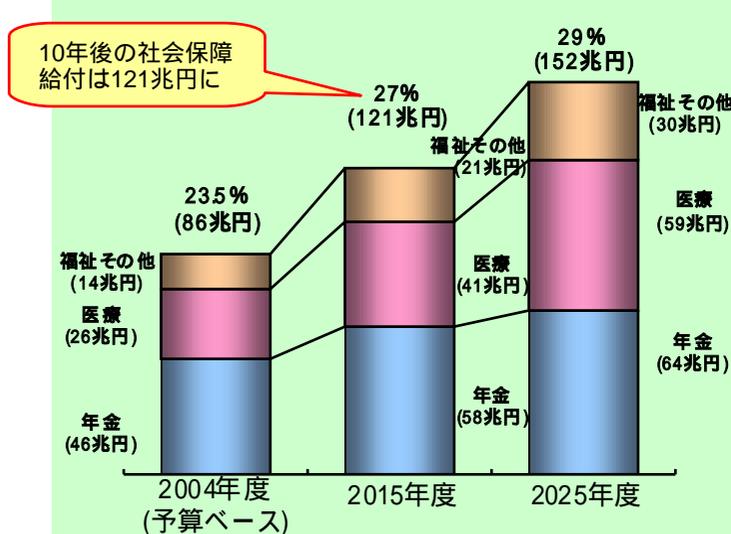
## 現状と課題（少子高齢化社会の進展による社会保障費の増大）

高齢者の増加に伴い、今後10年間の間に必要な社会保障費が増大すると見込まれ、今後は財政上の厳しさが一層増すことが予想される。

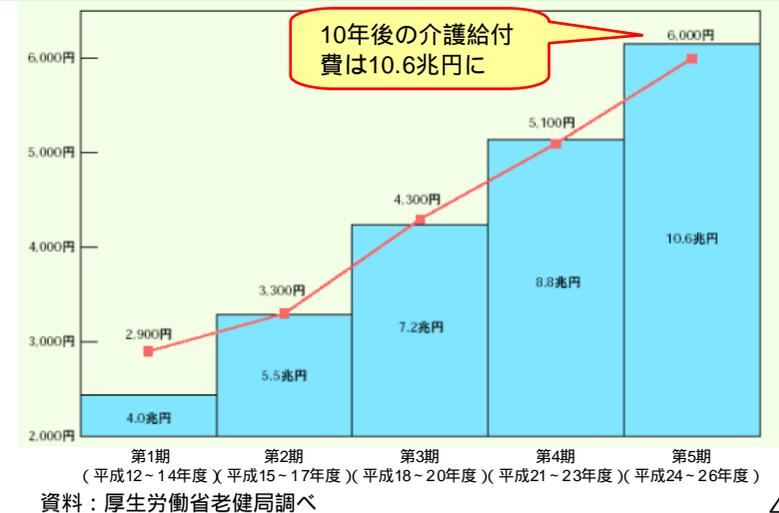
平成18年度一般会計予算  
歳出内訳



概ね10年後の社会保障の給付は121兆円（国民所得比27%）になると見込まれている



現状のまま推移すると概ね10年後の介護給付費は10.6兆円（約2倍）に達すると見込まれている

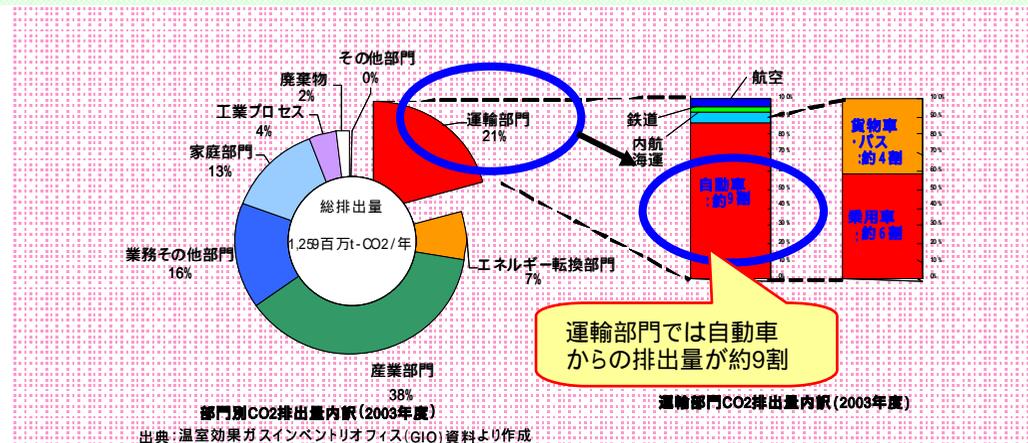


出典：厚生労働白書（平成17年版）

## 現状と課題（温暖化対策）

京都議定書の目標を達成するためには、2010年までに、より効率的な自動車交通を実現する道路政策の推進が必要不可欠

CO<sub>2</sub>総排出量のうち、運輸部門の排出量は21%、その約9割が自動車からの排出量



京都議定書の目標達成のためには、2010年までに、道路施策により約800万t-CO<sub>2</sub>/年の削減が必要

